

文芸とうかい

〔俳句〕

紅葉の満天星極まれる

東海 佐藤 とよ

雨の朝ココアを飲んで彼を待つ

舟川繁策 伊東 幸子

雑踏に落ち葉舞いけり家路かな

舟川繁策 辻本 國男

この暮れも香りたのしく蕎麦を挽く

船場 畑 耕太

日暮れても銀杏並木は明るうに

舟石川 舛井 愛子

風うずく磯辺の松の及び腰

南台 渋谷ひろし

雪の花舞い散る夜の静けさや

豊白 中島エミ子

落ち葉掃く冷えた手さすり何想ふ

外宿 西山 純一

鯉跳ねる音の響くよ刈田村

村松 松本 正勝

小春日や葉の衣脱ぐ大銀杏

村松北 小野寺紀夫

満月が黒雲に入り足速む

舟川繁策 伊東 岳志

〔短歌〕

八つ頭大株になり種芋の空蟬のごと
黒く朽ちいる

外宿 小林美代子

視覚障の新年会にもまねや民謡を
歌い赤べこ求む

舟川繁策 工藤和一郎

世界的金融危機に直面す未来の光早
求めん

照沼 佐藤 昇

そばの花今年は見ずに師走入りひざ
病む農夫老い悟りしか

内宿 村上 文江

豊作の柿むき終り仕上がりを楽しみ
ながら棹に吊るせる

外宿 高槌 すみ

風にゆれそよぐすすきの上空の雲の
きれまに弦月の見ゆ

東海 片野 紀夫

冬の畑白く見ゆるまで霜の降り南天
の実の日増しに赤む

船場 舛井庫之助

山畑に止めし車に一匹の枯れ葉色し
た飛蝗の止まる

南台 根本内俊男

昨夜みし夢消えさらすあつきま届
みて君の靴を磨きぬ

須和間 柴山 靖子

廃屋の壁いちめんこに這い伸びて夕日
をかえし烏瓜ひかる

緑ヶ丘 佐藤 正

梅を主に福寿草と南天を添え丑年の
盆栽作る

舟石川 小川志つ江

八十まで生きて今日ありこのチャペ
ルに孫の門出を寿ぎ祈る

村松北 黒澤 孝子

はらからと集ひて見たる青葉城寡黙
な義弟の説明をきく

村松 桜井 秀子

日本原子力研究開発機構美術部展

1月25日(日)～31日(土)



原子力機構の職員や
その家族、関連企業
職員、OBなど
が心豊かな人生を送るた
め制作した書や絵画、工芸
など、さまざまな美術作品
を展示します。

企画展「関南沖展～墨による造形」

1月7日(水)～24日(土)



書家であり、茨城大学教
授でもあった故関南沖さ
んの遺作展を開催しま
す。関さんの書は自由奔
放で、書体の枠にとらわ
れず、力強い造形作品に
なっています。造形芸術
としてのユニークな書の
世界をじっくりとご堪能
ください。

■開館時間 午前10時～午後7時 ※各展示の最終日は、関南沖展
が午後2時まで、日本原子力研究開発機構美術部展・かな書道茨
城藍筍会展・アートロード展(2月14日・21日)が午後3時までです。
■場 所 JR東海駅(駅舎2階)
■問 合せ 東海ステーションギャラリー(☎287-3680)

STATION GALLERY

第21回かな書道 茨城藍筍会展

2月1日(日)～7日(土)



故今関脩竹さん(日
展評議員)が創立し、
清水透石さんを会長
とした「藍筍会」所属
の県内在住者による
書展です。平安仮名
を基礎とし、大字で
表現した「かな書」の
多彩な表現をお楽し
みください。

第21回アートロード展

2月8日(日)～21日(土)



“暮らしの中の美術
館”をテーマに、村
内の美術愛好家が中
心となって街中が展
示会場に。前半(2
月8日～14日)に絵
画・彫刻・工芸・華道
を、後半(2月15日
～21日)に書・写真
の展示を行います。